

第11 - 5号

2011.4.28

2011年度の鉄道事業設備投資計画 輸送サービスの向上に267億円

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:大須賀 頼彦)では、お客さまに安心、便利、快適に鉄道をご利用いただくため、鉄道事業の設備増強を積極的に進めています。2011年度も「輸送力の増強」「安全対策の強化」「サービスの向上」を3本の柱に、総額267億円の設備投資を実施します。

2011年度の鉄道事業設備投資計画の概要は、次のとおりです。

記

1. 輸送力の増強

(1) 複々線化事業の推進(東北沢~和泉多摩川間10.4km)

現在工事中の東北沢~世田谷代田間(1.6km)が完成すると、朝のラッシュピーク時間帯に列車の増発が可能となり混雑が緩和されるほか、各駅停車と急行などの列車が別々の線路を走ることにより、所要時間が短縮されます。

昨年度は営業線直下での掘削作業を進めましたが、今年度は現在線の地下化に向けトンネル本体の構築や各駅のホーム構築等を実施する予定です。引き続き、1日も早い完成を目指して工事を推進してまいります(複々線化事業の進捗状況は別紙をご参照ください)。

(2) 各駅停車の10両化に向けた工事の推進

複々線完成後の朝のラッシュピーク時間帯における輸送力をさらに増強するため、現在8両編成で運転している近郊区間の各駅停車を10両編成で運転する予定です。今年度は南新宿駅のホーム延伸工事などを引き続き進めます。

2. 安全対策の強化

(1) D - A T S - P の導入

列車運行の安全性を一層高めるため、現在使用しているA T Sに替え、連続的で細かい速度制御により、急曲線、下り勾配等の制限速度の設定が可能となる、より安全性の高い新たな列車制御システム(D - A T S - P)の全線設置を目指しています。今年度は車両搭載設備の設置、および多摩線における地上設備工事を完了する予定です。また、江ノ島線における地上設備工事を引き続き進めます。

D - A T S - P : Digital Automatic Train Stop Patternの略

(2) ホーム柵の設置

駅におけるお客さまの安全性を向上させるため、今年度から新宿駅の4、5番ホームに可動式ホーム柵を設置する工事に着手します。

(3) 耐震補強の推進

大規模地震による被害を最小限に抑えるため、鉄道構造物の耐震補強を推進しています。今年度は、新宿、代々木上原、本厚木の駅部と、相模川橋梁において耐震補強工事を進めます。

(4)その他

自然災害による被害を極力抑えるため、柿生～鶴川間で法面防護工事を実施するほか、老朽化の進行している第一菖蒲トンネル(渋沢～新松田間)の改修工事を引き続き進めます。また、ホーム柵の設置に併せて今年度から新宿駅地上ホームの改修工事に着手いたします。

3. サービスの向上

(1)車両の製造とリニューアル

特急車両の製造

最新型特急車両の6000形(MSE)を10両(6両×1編成および4両×1編成)製造します。

通勤車両の製造と10両編成化

最新型通勤車両の4000形を10両(10両×1編成)製造します。また、3000形通勤車両の中間車両を12両製造し、6両編成の既存の車両に組み込むことで10両編成にします。 運転台のない車両

通勤車両のリニューアル

8000形通勤車両を12両(4両×3編成)リニューアルし、車いすスペース、車内LED表示器、自動放送装置を設置します。また、制御装置を変更することで運行に使用する消費電力を削減するほか、補助電源装置、コンプレッサーなどの床下機器の低騒音化を図るなど環境面にも配慮します。

(2)駅施設の改良、サービス向上

ホーム上家の増設

駅におけるお客さまへのサービスを向上させるため、ホーム上家の増設(延伸)を行います。今年度は、愛甲石田駅において工事に着手します。

以 上

別紙 （複々線化事業の進捗状況について）

当社では、快適な輸送サービスを提供するための抜本的な輸送改善策として、東北沢～和泉多摩川間（10.4 km）の複々線化事業を進めており、現在までに世田谷代田～和泉多摩川間（8.8 km）が完成しています。これにより、朝のラッシュピーク時間帯における向ヶ丘遊園 新宿の所要時間は事業着手前と比較し、急行で8分程度、各駅停車で4分程度、また、日中時間帯の各駅停車についても7分程度の短縮が図られ、速達性が向上するなどの効果を発揮しています。

残る、東北沢～世田谷代田間（1.6 km）は、2004年9月に工事着手し、現在、4線地下式による複々線化工事を鋭意推進しています。当区間が完成すると、すでに完成している複々線化施設と繋がることにより、列車の増発が可能となり、大幅な混雑の緩和が図られるとともに、所要時間がさらに短縮します。

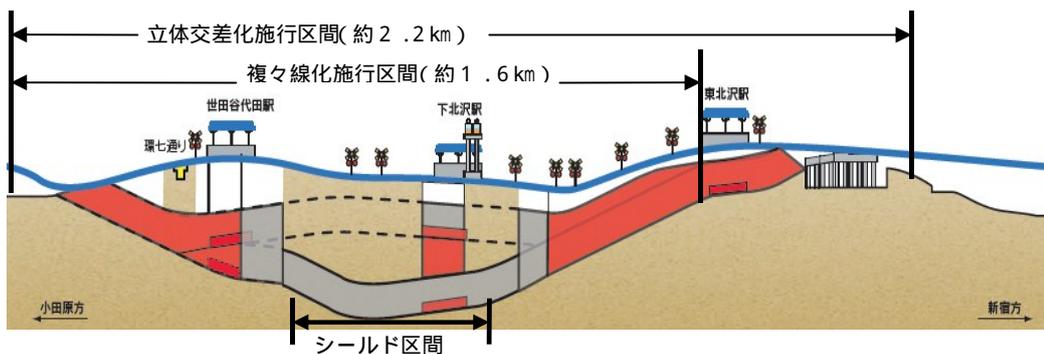
また、この事業は、東京都の都市計画事業である連続立体交差事業と一体的に進められています。これにより、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、鉄道と道路の安全性向上が図られるとともに、鉄道によって隔てられていた市街地の一体化や、駅周辺の整備が進むなど、事業による効果は高く、早期完成が求められています。

（東北沢～世田谷代田間 2011年度工事予定）

現在、本工事区間（下北沢地区）では現在線の地下化に向けて、営業線直下での掘削工事およびトンネル本体の構築工事が最盛期となっています。2011年度内のトンネル本体完成を目指し、上期には掘削工事を完了させるとともに、下期からは地下化時に使用開始する各駅のホームや駅関係工事を開始する予定です。

また、本事業にあわせて改築が必要である下北沢駅の井の頭線施設について、京王電鉄との協議が整い、本年より改築工事に着手することとなりました。今後、地下化時の乗換通路や駅出入口等に関する検討を進めるなど、地下化に向けた準備を推進いたします。

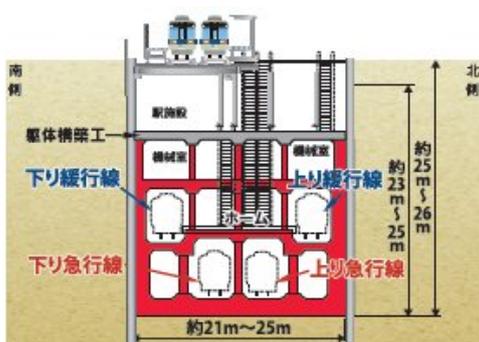
【事業区間全体図】



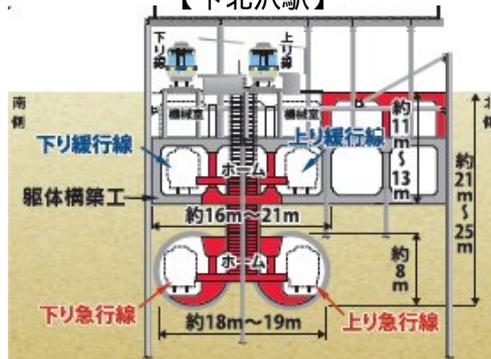
【トンネル構築状況】



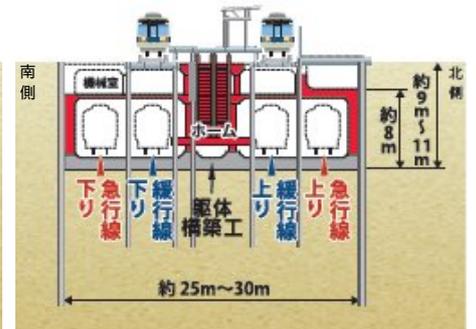
【世田谷代田駅】



【下北沢駅】



【東北沢駅】



凡例	
■	2011年の工事予定箇所
■	完成済み箇所
	未施工箇所